

9月グループ山行 由布岳(1583m)・涌蓋山(1500m)

9月23日(木)～25日(土) (自家用車2台使用)

参加者 8人 L.C. : 功野、宮木(一)、中島(康)、三浦、宮木(澄)、花房、花岡、川村

コースタイム

<23日> 曇 広島(8:00)→山陽・中国・九州・東九州道→10:50 昼食・道の駅(おこしかけ) 11:20→13:00 登山口 13:20→15:20 マタエ 15:25→15:43 由布岳(東峰)→東登山道引返地点 15:57→16:20 マタエ 16:20→18:10 登山口 18:20→18:50 鉄輪温泉陽光荘(宿泊)

<24日> 晴 宿出発(7:50)→8:15 食堂(朝食) 8:55→10:10 登山口(県道脇) 10:25→10:45 一目山 10:55→11:50 ミソコブン山 11:50→12:55 雌岳(昼食) 13:20→13:37 涌蓋山頂上 14:05→15:40 ヒゼン湯登山口 16:00→17:30 杖立温泉(宿泊)

<25日> 晴 宿出発(8:45)→杖立(買い物)R212→日田(買い物)R212→山国町 R496→英彦山・豊前坊(高住神社) R496→茹田(昼食)→茹田・北九州空港IC→東九州道→小倉JCT→九州道→中国道および山陽道経由→17:10 広島

23日、7時半過ぎに国道54号、中筋駅横に8名が合流して出発した。渋滞はなく王子SAに到着、九州道の太宰府及び筑紫野あたりは予想通りの渋滞情報が入ったので、東九州道を利用することとし、昼前の11時ころ椎田道路終点近くの道の駅で昼食を摂った。道路は順調に進み13時に由布岳登山口に着いた。天候は曇りで視界も悪いが気温は程良い加減で暑さはない。若い米国人女性下山者の話では風がかなり強く空気・登山路は湿っているとのことである。登路は順調でマタエまで2時間である。風はやや強く岩が湿っている。火口壁の周回路から東登山道を少し降りた所の岩場が湿っている。時間もリミットを超えるなど、この地点で引き返すこととした。合野越まで一気に下り、ヘッドランプを準備して登山口に向かった。下山終了間際、Mさんが湿った石に足を滑らせて左前面側壁に手をついて体制を立て直したが左手にダメージを受けた。外傷は見えないが念のために別府市宿泊所、陽光荘のおかみに相談して近くで治療を受けることができた。中高年者の登山では足元に気を配る必要性、明るい時間帯でののんびりとした行動の重要性を強く感じた。

24日、起床すると好天で西の空は雲がほとんどない。本日のコース、距離はあるが平坦に近く見晴らしは良いところである。自炊はやめ、やまなみ道路途中にある食堂で朝定食を食べ、昼食のおにぎりを作ってもらう。長者原でトイレ休憩、程無く登山口、九重スキ一場手前の登山口に着く。そこより20分で360度好展望の一目山である。阿蘇5山、久住連山の頂上は少し雲がかかっている。涌蓋山方面は視界が良い。写真撮影後、ミソコブンに向かう。初夏にきれいなミヤマキリシマのある斜面を登っていると驚いたことに僅かではあるがキリシマが咲いているではないか。はじめての経験である。涌蓋山頂上20分手前の雌岳頂上に着き、昼食をとる。昼食の後、17分で涌蓋山に登り、景色と写真を楽しんでゆっくりペースでヒゼン湯登山口まで1時間半である。

25日、朝、温泉街の景色と元湯露天風呂を楽しむ。杖立の販売所、日田等、所々で買物をしつつ、途中英彦山豊前坊駐車場で雰囲気を楽しんで帰路に着いた。 (記:功野)